

そとぎき ひでと

表彰者名： **外崎 秀人（北海道瀬棚郡今金町）**

表彰理由： 平成15年の今金町長就任以降、長年にわたり後志利別川の清流保護に尽力し、また令和2年に新たに設立された「後志利別川環境創造保全振興促進期成会」の初代会長として、同川の治水対策の推進や河川環境保全などに貢献された。



令和4年8月16日の大雨災害後に、長谷川岳参議院議員が被害状況を確認した際の対応状況（場所：豊田3号樋門）（写真左側手前が外崎様）



NPO法人 後志利別川清流保護の会 集合写真

こごと はちろう

表彰者名： 小里 八郎（岐阜県養老郡養老町）

表彰理由： 平成5年から長年にわたり、金草川排水機場の操作員として従事し、施設の点検整備を定期的に行い、かつ非常時においては昼夜を問わず迅速な操作監視対応を行うなど、災害の軽減に貢献された。



金草川排水機場



施設点検時の様子

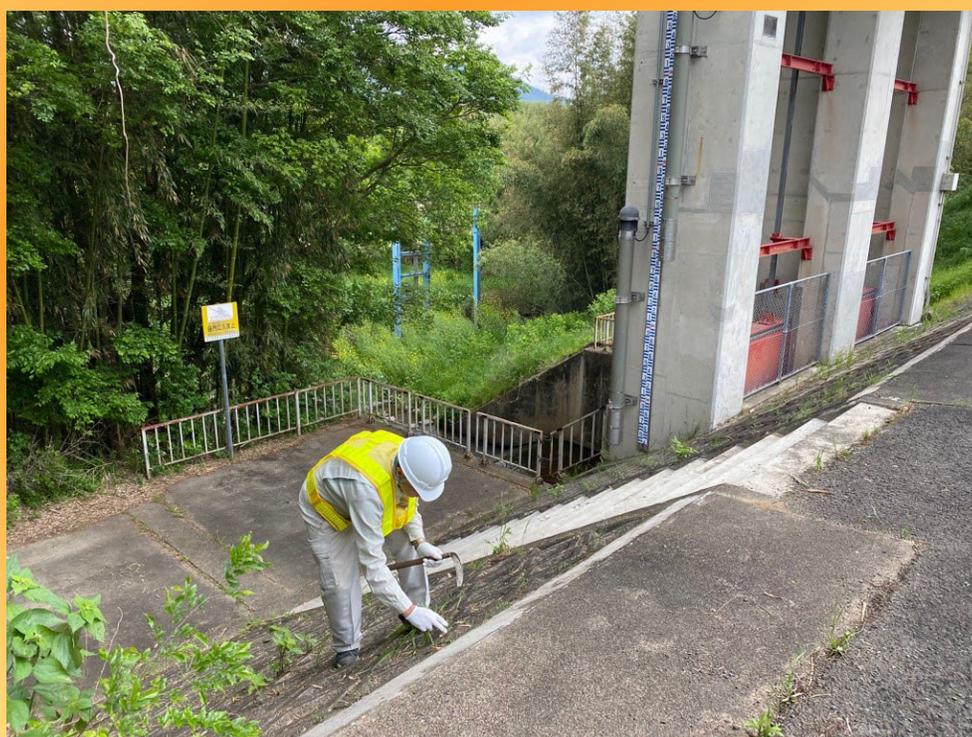
くらぐち たくや

表彰者名： 倉口 卓也（京都府木津川市）

表彰理由： 平成元年から長年にわたり、淀川水系木津川渦之樋樋門の水門等水位観測員として強い責任感をもって施設の点検・操作に従事し、過去幾多の洪水において正確かつ迅速な操作を行い、災害の軽減に貢献された。



淀川 渦之樋樋門 作業時の様子



淀川 渦之樋樋門 草むしりの様子

ひらおか けいじ

表彰者名： **平岡 啓司**（京都府木津川市）

表彰理由： 平成元年から長年にわたり、淀川水系木津川赤田川水門の水門等水位観測員として強い責任感をもって施設の点検・操作に従事し、過去幾多の洪水において正確かつ迅速な操作を行い、災害の軽減に貢献された。



淀川 赤田川水門作業時の様子

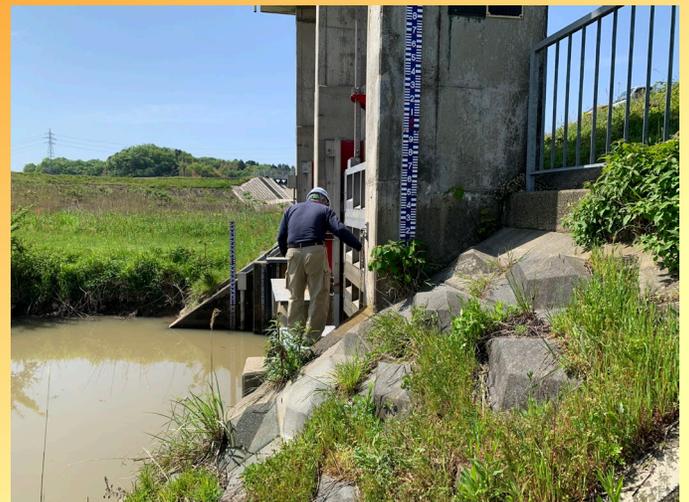


淀川 赤田川水門と平岡氏

ふくい くにお

表彰者名： 福井 邦夫（兵庫県豊岡市）

表彰理由： 平成元年から長年にわたり、円山川水系奈佐川福田第二樋門の水門等水位観測員として施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず迅速且つ的確な操作を行い、災害の軽減に貢献された。

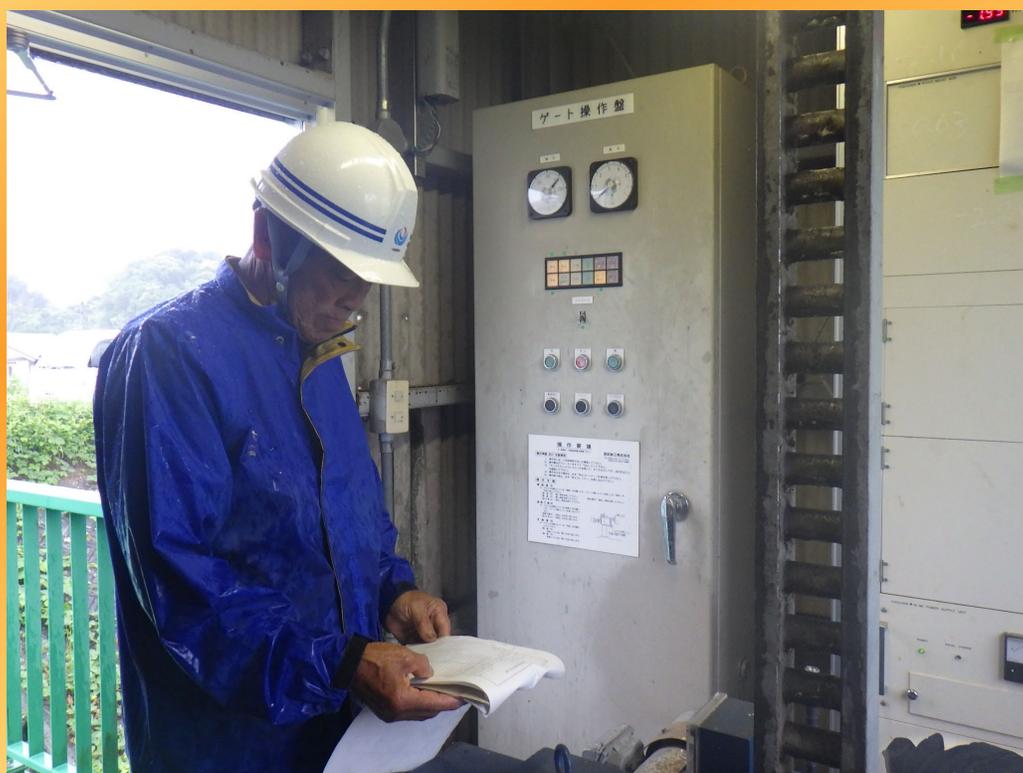


奈佐川福田第二樋門での作業時の様子

たかはし かずひろ

表彰者名： **高橋 和博**（高知県吾川郡いの町）

表彰理由： 昭和52年から仁淀川水系仁淀川 鎌田排水樋門の水門等水位観測員として、長年にわたり施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。



出水時に備え樋門操作の点検中の様子

表彰者名： **森澤 浩彦**（高知県吾川郡いの町）

表彰理由： 平成5年から仁淀川水系仁淀川 奥田川排水樋門の水門等水位観測員として、長年にわたり施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。



樋門機械室点検時の様子



水位の確認中の様子

表彰者名： **中平 正宏（高知県四万十市）**

表彰理由： 平成25年に四万十市長に就任以降、四万十川改修期成同盟会会長等として、地域住民の安全で安心した暮らしを守るため、横瀬川ダム建設を始めとする治水事業の推進に尽力されるとともに、「四万十市水害に強い土地利用条例」を制定するなど、「流域治水」を実践し、次世代に繋がる四万十市の礎の築造に貢献された。



R4. 11. 10 【四水連】 第2回要望活動写真



R5. 6. 11相ノ沢川総合内水対策事業竣工式



R5. 6. 12四水連本省要望_意見交換会



R6. 4. 7四万十川水防演習



R1. 10. 3横瀬川ダム要望・湛水お礼_本省



ごとう のぶたか

表彰者名： 後藤 信孝（福岡県朝倉郡筑前町）

表彰理由： 九州20河川の河川整備基本方針及び整備計画の策定や災害関連事業の採択・推進に尽力されるとともに、九州管内の流域連携を推進され、後輩の育成にも積極的に取り組まれるなど、人材育成にも貢献された。



令和6年11月6日 災害査定講習会講師 九州地方整備局筑後川河川事務所



平成29年8月8日 平成29年九州北部豪雨 福岡県朝倉市
災害復旧技術専門家派遣状況

表彰者名： 石狩川流域圏会議（北海道恵庭市）

表彰理由： 石狩川流域46市町村で構成される石狩川流域圏会議と国、北海道が連携して推進する「石狩川流域連携宣言」に基づき、気候変動による降雨量増加などの大規模水害に対応するため、相互防災支援体制の構築や豪雨対策研修を継続的に実施し、「石狩川流域の安全・安心」の確保に貢献された。



豪雨災害研修時の様子



令和6年度石狩川流域圏会議 総会写真

表彰者名： 吉田川流域治水促進同盟会（宮城県黒川郡大和町）

表彰理由： 流域治水の前段となる地域の地形特性や水害リスクの地域での理解を進めるべく、地域主体で勉強会を開催し、流域治水の普及に貢献するとともに、高水敷のヤギ 幼木の除却やゴミ拾いを実施し、河川環境の維持に貢献された。



吉田川 ヤナギの芽刈り取り作業状況

表彰者名： りゅうちるネットワーク（宮城県大崎市）

表彰理由： 流域治水の前段となる地域の地形特性や水害リスクの地域での理解を進めるべく、イベントや出前講座を実施し、流域治水の普及に貢献するとともに、高水敷のヤギ幼木の除却やゴミ拾いを実施し、河川環境の維持に貢献された。



2024年 10月5日吉田川・高城川 流域治水収穫祭の様子



2025年 3月14日 吉田川クリーンアップ活動の様子